

「福祉サービス第三者評価」等を踏まえたサービス改善計画・実施状況

施設名	友生園	受審(実施)年度 (※)	平成30年度	施設番号	41 -0050
-----	-----	-----------------	--------	------	----------

※第三者評価または利用者調査実施の年度

項目	評価結果に基づく現状分析 (平成 30 年度)	改善計画 (平成 30 年度末時点)	実施状況(予定を含む) (平成 31 年 4 月 30 日時点)	左記実施状況に実施予定が あった場合の実施状況 (令和 2 年 4 月 30 日時点)
利用者の 高齢化、 重度化と 共に業務 省力化や 記録の ICT化な どの検討 について	利用者の平均利用期間が20年、平均年齢も55歳に近づいており、今後の高齢化、重度化への備えが重点課題となっています。それらに伴い業務量が膨大になってきており、行事のあり方、記録等のあり方すべてに対して見直しが必要になってきています。	高齢化や重度化に対応出来るよう専門知識や技術の習得のための助成や理学療法士による個別リハビリやミュージックケアの取り組み、また業務の見直しを行い、重複している記録をなくし、委託できる行事は外部委託する、利用者個人に応じて臨機応変に対応する等、業務量の省力化の見直しを行いました。	1 実施済み ② 実施予定 (2019年6月ごろ)  具体的には以下のとおりです。 ICT化については法人内の都外施設を中心に検討予定です。	1 実施済み  現時点では実施していません。法人内の都外施設と意見交換を行いました。ICTを取り入れている施設もありましたが業務量の省略化には繋がっていないようです。当園では今直ぐにICT化取り入れの予定はなく引き続き検討します。
服薬の仕 方が職員 によりバラ ツキがあり 再度の確 認 について	服薬管理マニュアルを作成して、投薬ミスをなくすために、様々な対策をたてて取り組んでいますが、ヒューマンエラーがなくなるのが、現状です。	慣れからくる手順の省略化等を防ぐため、マニュアルに沿った手順を行う事。服薬時は服薬利用者と記名の確認と声だし確認の徹底を行い、不適切時にはその場で指導するなどを職員会議等で全職員に周知しました。	① 実施済み 2 実施予定 (平成 年 月 ごろ)  具体的には以下のとおりです。	1 実施済み (平成 年 月)  具体的には以下のとおりです。
意思決定 が難しい 方の意思 決定につ いての更 なる取り 組み について	全利用者さんの聞き取り調査をお願いしましたが、意思表示の出来る方、出来ない方を施設で線引きしてほしいという提案に対しては、今後も全利用者さんの聞き取りをお願いします。意思表示の出来ない方には場面観察等で表情等を読み取って頂きたいと思います。	意思決定は決定内容の難易度と利用者さんの理解力・職員の質・量の総和により実現すると思われれますので支援者側の意識改革が必要です。正しい知識習得のため参考ガイドブックを購入し、関連する研修に中堅職員を参加させ、研修後は全職員を対象に報告会を開催し、全職員の意識改革を図りました。	① 実施済み 2 実施予定 (平成 年 月 ごろ)  具体的には以下のとおりです。	1 実施済み (平成 年 月)  具体的には以下のとおりです。

※この様式は、「東京都民間社会福祉施設サービス推進費補助金交付要綱」等の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価(又は利用者に対する調査)の結果は、施設において公表しているほか、「ときよう福祉ナビゲーション」によりインターネットでも閲覧できます。